福祉課題解決に向け 重層的支援により 取り組み強化

■あったかふれあいセンター事業委託　7110万円

既存の6カ所分の委託費で、各拠点を中心に地域の支えあいの仕組みづくりを行うもの。

脳トレチャレンジ中（あったかサテライト鞭）

■多機関協働事業委託　2750万円

社会福祉協議会に委託するもので、内容は、あったかふれあいセンター等の支援機関からつながれた、複合化した支援ニーズを持つケースに対して支援を行うもの。支援者をサポートする役割を担う事業。

■福祉事務所未設置市町村による相談事業　620万円

地域住民からの相談を幅広く受け止め、本人に寄り添い、抱える課題の解きほぐしや整理を行うもの。

■生活困窮者の共助の基盤づくり事業　380万円

地域づくりに関連する事業の取り組みを活かし、世代を超えて交流できる場や居場所の整備について社協に委託。

■権利擁護センター事務委託　1160万円

金銭管理や緊急事務管理等、地域包括支援センターと社協の連携により実施されるもの。

妊婦に対する初回産科受診料補助へ

■初回産科受診料支援事業　45万円

これまでは自己負担だった初回受診時の費用を補助するもの。45名分。

子育て支援の充実

■出産・子育て応援交付金　450万円

4月以降に生まれた子どもに対して伴走型支援を行うとともに、10万円支給するもので、45名分を計上。

■在宅子育て応援事業　1862万円

保育所等を利用せず、在宅で3歳児未満の子を保育する家庭に対して、第1子、第2子に1月当たり2万円、第3子以降3万円の交付をするもの。

■乳幼児医療費助成事業　1189万円

■小中学生医療費助成事業　1534万円

前記2件は、15歳までの医療費無償化を継続する。

小中学校 机、いす 新たに

■小中学校机・いす購入費　714万円

全ての小中学校の机といすを新調するもの。

Q 宮地 葉子 議員

具体的な内容と、現在使っているものの処分の方法は。

A 藤本 教育次長

現在使用している机は小さいため、タブレット端末を使用する際に手狭で、老朽化も進んでいるため、買い替える。

処分の方法は今後検討する。

学校給食 値上げせず対応

■学校給食賄い材料費　4077万円

原油価格や物価高騰の影響を踏まえ、前年度比8・7％増。給食費の増額徴収は行わず、安定した給食を提供していく。

大方高校学生寮 建築への予算確保

■大方高校学生寮用地購入費　1576万円

学生寮建築を進める県立大方高校

■大方高校学生寮造成工事　1244万円

■大方高校学生寮建築設計業務委託　1184万円

前記3件は、学生寮建築に向けた関連予算。

Q 中島 一郎 議員

これまでの流れと実施状況は。

A 徳廣 企画調整室長

基本的な設計委託を繰り越し予算で実施予定。予定地が農地であり、造成工事が必要だ。

予算可決後、不動産鑑定による評価額等に沿って用地購入を進める。

浮津共同墓地移転

■浮津墓地移転設計等業務委託　3857万円

高規格道路延伸のため、代替え墓地の造成、移転に向けた設計。